

ドイツ語 1 (初級 A) 第 7 回 冠詞類、ja - nein - doch

範囲: 教科書 S. 19-21 (CD トラック 20-25)

《今回の基本例文》

15. Das ist die Meinung dieses Professors. (CD20-3)

それはこの教授の説である。

[**定冠詞類** (指示代名詞) **dieser**]

16. Ich gebe meinem Sohn meine Kamera. (CD22-3)

私は息子に自分のカメラをあげる。

[**不定冠詞類** (所有代名詞) **mein**、(3 格目的語と 4 格目的語をとる動詞)]

17. Haben Sie Kinder? – Nein, ich habe keine Kinder. (CD23-3)

あなたには子供がいらっしゃいますか? – いいえ、私には子供はおりません。

[**不定冠詞類** (**否定冠詞**) **kein**]

18. Ist das ihr Schlüssel? – Nein, das ist nicht ihr Schlüssel. (CD24-3)

これは彼女の鍵かな? – いや、これは彼女の鍵ではないよ。

[**否定辞** **nicht**、(**不定冠詞類** **unser**)]

19. Habt ihr heute keine Schule? – Doch, wir haben heute Schule. (CD25-3)

君たちには今日、学校はないの? – いや、今日は学校があるんだよ。

[**否定疑問文に肯定で答える際の** **doch**、(**不定冠詞類** **kein**)]

教科書第 4 課 A. 冠詞類: **dieser** 型と **mein** 型 (S. 19)

〈冠詞類について〉 (補足)

◇ これまで、指示代名詞としては「それ、あれ」を意味する **das** を学習した (教科書 S. 12)。この **das** は英語の *this* や *that* に相当するが、単体で使用するもので、*this pen* のように名詞の付加語として使うことはできなかった。そのような付加語になる指示代名詞が、ここで学ぶ **dieser** であり、名詞の性・数・格に応じて定冠詞と似た変化をする。ほかにも定冠詞と似た格変化をする付加語があり、**定冠詞類** (または **dieser** 型) と呼んでいる。

◇ また、英語の *my, your, his...* にあたる所有代名詞も、まだ扱っていなかった。これらも名詞に対する付加語である以上、名詞の性・数・格に応じて変化する。こちらは不定冠詞に似た変化になるため、**不定冠詞類** (または **mein** 型) と呼んでいる。ほか、英語の *no* に相当する **kein** もここに含まれる。

◇ 定冠詞類と不定冠詞類は、あわせて**冠詞類**という。名詞の前に置いてそれを修飾する。

* 付加語としてではなく、うしろの名詞を省略して単独で用いることもある。

(例) **dieser** Tisch (この机) → **dieser** (これ)

教科書 1 dieser 型（または定冠詞類）

◇ 定冠詞 der の変化表から語尾のみ抜き出すと以下ようになる。

	男性	女性	中性	複数
1 格	-er	-ie	-as	-ie
2 格	-es	-er	-es	-er
3 格	-em	-er	-em	-en
4 格	-en	-ie	-as	-ie

定冠詞類（dieser 型）はこれに準じた変化をするので、基本的には各語尾の -er の部分に定冠詞の変化表の語尾を代入すればよい。ただし、

- ・ -ie（女性 1 格、女性 4 格、複数 1 格、複数 4 格）の部分 → -e に
- ・ -as（中性 1 格、中性 4 格）の部分 → -es に

なることに注意。すると、下表のような格変化になる。

	男性	女性	中性	複数
1 格	-er	-e	-es	-e
2 格	-es	-er	-es	-er
3 格	-em	-er	-em	-en
4 格	-en	-e	-es	-e

◇ 定冠詞類（dieser 型）には、下記のようなものがある。

- ・ 指示代名詞：dieser（この）、jener（あの）、solcher（そのような）
- ・ 不定代名詞：jeder（各々の）、aller（すべての）、mancher（かなりの、いくつかの）
- ・ 疑問代名詞：welcher（どのような、どちらの）

* welcher の詳しい使い方は、教科書 S. 42 であらためて扱う。

教科書 2 mein 型（または不定冠詞類）

◇ 不定冠詞 ein の変化表から語尾のみ抜き出すと以下ようになる（無語尾は○で表す）。

	男性	女性	中性
1 格	○	-e	○
2 格	-es	-er	-es
3 格	-em	-er	-em
4 格	-en	-e	○

不定冠詞類（mein 型）は、これをそのまま適用すればよく、不定冠詞 ein の部分を mein その他に変えてやればよい。ただし、不定冠詞には複数形がなかったので、複数の列のみ定冠詞類を踏襲する。すると、下表のような格変化になる。

	男性	女性	中性	複数
1 格	○	-e	○	-e
2 格	-es	-er	-es	-er
3 格	-em	-er	-em	-en
4 格	-en	-e	○	-e

◇ 不定冠詞類 (mein 型) には、以下のようなものがある。

・ 所有代名詞 (所有冠詞)

	単数 (英語)	複数 (英語)
1 人称	mein (<i>my</i>)	unser (<i>our</i>)
2 人称	dein (<i>your</i>)	euer (<i>your</i>)
2 人称 (敬称)	Ihr (-)	
3 人称	sein (<i>his</i>) ihr (<i>her</i>) sein (<i>its</i>)	ihr (<i>their</i>)

2 人称の敬称 Sie に対する所有代名詞は Ihr と、やはり語頭を大文字にすることに注意。

・ 否定冠詞 : **kein**

* kein の使い方は英語の *no* よりも広く、のちほどあらためて扱う (⇒教科書 S.28) が、現段階では英語で *not* を使うときは **nicht**、*no* を使うときは **kein** と考えておけばよい。

◇ 不定冠詞類のうち、**unser** (我々の) と **euer** (君たちの) は、語尾が **-er** であるため定冠詞類と間違えやすいので気をつけること。

・ **unser** の変化表は以下の通り (e の重複を避ける変化形を使う場合もある)。

	男性	女性	中性	複数
1 格	unser	uns(e)re	unser	uns(e)re
2 格	uns(e)res	uns(e)rer	uns(e)res	uns(e)rer
3 格	uns(e)rem	uns(e)rer	uns(e)rem	uns(e)ren
4 格	uns(e)ren	uns(e)re	unser	uns(e)re

・ **euer** の変化表は以下の通り (こちらは e の重複を避ける変化形が普通だが、入れても間違いではない)。

	男性	女性	中性	複数
1 格	euer	eu(e)re	euer	eu(e)re
2 格	eu(e)res	eu(e)rer	eu(e)res	eu(e)rer
3 格	eu(e)rem	eu(e)rer	eu(e)rem	eu(e)ren
4 格	eu(e)ren	eu(e)re	euer	eu(e)re

教科書 Übung 1

2,3. もちろん、2 格の場合、冠詞類がついても後置修飾することには変わらない。また、男性 2 格や中性 2 格の名詞には -s ないし -es がつくのも同じ（複数 3 格には -n がつく）。

教科書 Übung 2 (S. 20)

2. Eltern は「両親」で、英語の *parents* と同じく複数形でしか存在しない名詞。ほか、複数形でしか存在しない名詞としては、Ferien（学校の休暇）などがある。（⇒授業第 2 回配付資料 S. 3）

教科書第 4 章 B. ja - nein - doch (S. 21)

〈決定疑問文に対する返事について〉（補足）

◇ 決定疑問文に答えるとき、**ja** と **nein** のほか、**doch** という返事も使用する。否定疑問文に際しては、日本語の「はい」や「いいえ」はもとより、英語の *yes* と *no* の使い分けとも一致しない。公式は次の通り。

		ドイツ語	(英語)	日本語
肯定疑問文に	肯定で答える	ja	<i>yes</i>	はい
	否定で答える	nein	<i>no</i>	いいえ
否定疑問文に	肯定で答える	doch	<i>yes</i>	いいえ
	否定で答える	nein	<i>no</i>	はい

◇ わかりやすく言えば、否定疑問文に肯定で答えるときは doch を使う。

◇ 否定疑問文には、*nicht* のみならず、先ほど学習した *kein* を用いた文も含む。

* *Ich habe keinen Hunger.* に *nicht* ではなく *kein* が使われているのは、*Hunger* が無冠詞だから。（⇒教科書 S. 28）

◇ 教科書の例文 *Ist es draußen nicht kalt?* は、天候や気象を言うときに使用する主語 *es* を用いている。英語の *It is cold.* の *it* と同じ。詳しくはのちほど扱う。（⇒教科書 S. 57）

連絡先など

教員のメールアドレス：tokan@nifty.com 教員のウェブサイト：<http://hasegawa.la.coocan.jp/>

授業のウェブサイト（進捗表示、配付資料あり）：<http://hasegawa.la.coocan.jp/lecture/>